入　札　公　告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成２３年２月１日

独立行政法人水産総合研究センター
研究推進部長　和田　時夫

１．調　達　内　容

（１）調達物品及び数量　　自動分取精製用質量分析システム　１式

（２）調達物品の仕様　　入札説明書による

（３）納　入　期　限　　平成２３年３月３１日

（４）納　入　場　所　　神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４
独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所

（５）入　札　方　法　　落札決定に当たっては，入札書に記載された金額に当該金額の１００分の５に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは，その端数を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので，入札者は，消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず，見積もった契約希望金額の１０５分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。

２．競争参加資格

（１）独立行政法人水産総合研究センター契約事務取扱規程（平成１３年４月１日付け１３水研第６５号）第１２条第１項及び第１３条の規定に該当しない者であること。

（２）平成22・23・24年度独立行政法人水産総合研究センター競争参加資格又は全省庁統一資格の「物品の販売契約」の業種「精密機器類」で「Ａ」，「Ｂ」，「Ｃ」又は「Ｄ」いずれかの等級に格付けされている者であること。

（３）独立行政法人水産総合研究センター理事長から物品の製造契約，物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし，全省庁統一資格に格付けされている者である場合は，国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

３．入札及び開札の日時及び場所等

（１）入札説明書の交付方法　　神奈川県横浜市西区みなとみらい２－３－３
クイーンズタワーＢ　１５階
独立行政法人水産総合研究センター
研究推進部契約課契約第二係にて交付する。
電　話　０４５－２２７－２６６１
ＦＡＸ　０４５－２２７－２７０３
また，郵送等による配布希望者は，書面に「自動分取精製用質量分析システム入札説明書希望」と記入のうえ，上記交付場所へＦＡＸ送信すること。

（２）入札説明会の日時及び方法　　入札説明書受領時に，メールアドレス又はＦＡＸ番号を登録し，質疑がある場合は２月９日までに質疑を行い，回答は登録者全員に行うメール又はＦＡＸによる入札説明会を開催する。なお，当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け登録者全員に回答する。

（３）入札書の受領期限及び提出場所　　平成２３年２月１６日　１７時
（郵送の場合必着）
神奈川県横浜市西区みなとみらい２－３－３
クイーンズタワーＢ　１５階
独立行政法人水産総合研究センター研究推進部
契約課契約第二係

（４）開札の日時及び場所　　平成２３年２月２１日　１１時
神奈川県横浜市西区みなとみらい２－３－３
クイーンズタワーＢ　１５階
独立行政法人水産総合研究センター　会議室

（５）入札者に要求される事項　　この一般競争に参加を希望する者は，封印した入札書に本公告に示した物品を納入できることを証明する書類を添付して入札書の受領期限までに提出しなければならない。入札者は、開札日の前日までの間において、独立行政法人水産総合研究センター研究推進部長から当該書類に関し説明を求められた場合は，それに応じなければならない。

４．その他

（１）契約手続きにおいて使用する言語及び通貨　　日本語及び日本国通貨。

（２）入札保証金及び契約保証金　　免除。

（３）入札の無効　　本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

（４）契約書作成の要否　　要。

（５）落札者の決定方法　　予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

（６）競争参加者は，入札の際に独立行政法人水産総合研究センターの資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

（７）詳細は入札説明書による。

購入仕様書

１．品　名　　自動分取精製用質量分析システム

２．数　量　　１式

３．目的及び用途

本装置は、当センター事業における貝毒標準品の製造と配布を推進するにあたり、大量分取と自動精製が可能な精製法を確立するため使用する。

４．仕　様

（１）送液部

①流速範囲 10ml/min 以上であること。

②接続溶媒数は 4 液以上接続可能で 4 溶媒グラジェント分析が可能なこと。

③システム耐圧は 2900 psi（20Mpa）以上あること。

（２）インジェクター&フラクションコレクター

①サンプル注入用のインジェクターとサンプル分取用のフラクションコレクターの機能をシステム中に備えていること。またインジェクターの注入範囲 1500 μ L 以上、100 検体の自動化可能であること。

②サンプル容器とフラクション容器として 12 mm 以上の試験管、バイアルに対応していること。

③スプリッタは、LC と MS の配管の分岐は制御ソフトからスプリット比が変更できるアクティブスプリッタであること。

（３）検出部

(3)-1 シングルＭＳ

①秒間 2,500amu のスキャン測定が行えること。

②正負イオンの切替を 300m 秒以下で行えること。

③ ESI、APCI の 2 種類のイオン化を切り替えて同時分析が行えること。

④汚れに対して耐久性が高いイオン源を有すること。

（４）データ処理装置及びソフトウェア

①液体クロマトグラフ装置および MS 検出器、分取の制御を一つのソフトウェア上から制御できること。

②ピーク分取のパラメータを MS 情報、UV 情報のそれぞれ個別に設定できること。また UV スペクトルが確認できること。

③変更した分取ピークパラメータ設定をクロマトグラフ上でシミュレーション表示出来ること。

④処理装置はパーソナルコンピュータを使用する（形状，及び OS は問わない。）

⑤スペックは、構成する機器を無理なく動作でき、データ解析ソフトウェア等を無理なく動作できること。

（５）窒素ガス発生装置

① MS 検出器の使用に必要な窒素流量に対応していること。

② 100V 電源仕様の省スペースなコンプレッサー一体型であること。

５．納入場所

神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４

独立行政法人水産総合研究センター　中央水産研究所

６．納入期限　平成２３年３月３１日

７．その他

１）本装置の搬送・搬入については，受注者側で行うこと。

２）受注者は，上記試験調整時に操作に従事する職員（以下「当該担当者」という。）及び検査職員に対し十分な説明を行うこと。なお，試験調整，取り扱い説明実施日時については，当該担当者と打ち合わせの上，納入すること。

３）受注者は，本装置構成機器について和文で示した取扱説明書を納入時に３部提出すること。

４）導入後１年間は無償で保守及び故障修理を行い，性能不良等修理調整が必要になった場合は，迅速に対応すること。

５）検収試験内容で受注者の責任による不具合などが発生した時は修理または代品を納入すること。

６）装置の操作方法や維持管理に関する詳細な和文説明書をＣＤで提供すること。